

メリデン版訪問家族支援の 基盤づくり

2025年度 尼崎市自発的活動支援事業の補助事業として

あまかれん(尼崎市精神福祉家族会連合会)

あまかれん(尼崎市精神福祉家族会連合会)

家族のメンバーが精神障害をもつ…という人々が集い活動している会です。

尼崎市では、昭和63年以来、当時の行政区ごとに6つの家族会ができました。そして、市内の家族会が一緒に活動しているのが「あまかれん（尼崎市精神福祉家族会連合会）」です。

メリデン版訪問家族支援とは

1970年代から1980年代よりイギリス・アメリカ・イタリア・カナダ・ニュージーランドなど世界各国で普及しているBFT（Behavioral Family Therapy＝行動療法的家族療法）と呼ばれる家族支援の方法

日本では、2025年現在、当事者支援に比べ、当事者に一番影響ある環境としての家族（＝一番身近にいて、家族自身の生活も当事者の状況に大きく影響を受ける）への支援はとても少ない。

その中で、メリデン版訪問家族支援では「（当事者を含めた）家族をまるごと支援する」という考えの基、家族を含めた支援が行われる。

メリデン版訪問家族支援の基盤づくり

【目的】

メリデン版訪問家族支援を利用して、家族と精神障害当事者の関係回復が図れることを広く支援者に知ってもらう機会を作り、支援ができる人材やベース（基地）を今後確保していくための環境を作る
(理解者、支援者、利用希望者を増やしていく)

【実施内容】

① 勉強会「家族まるごと支援はなぜ必要か

～メリデン版訪問家族支援の実践を通して」

佐藤 純 先生（Cafsきょうと）

② 勉強会「家族まるごと支援の方法とコツ

～メリデン版訪問家族支援は、本人・家族・支援者に何をもたらすか～」

林 正賢 先生（こころのリカバリー総合支援センター）

③ 交流会「『家族まるごと支援』について考える」

① 勉強会「家族まるごと支援はなぜ必要か ～メリデン版訪問家族支援の実践を通して」

令和7年12月10日（水）18：30～20：30 小田北生涯学習プラザ 学習室
（オンデマンド配信は、12/12～12/24）

会場参加者：24名、オンデマンド視聴者：申込数53名

アンケートより

- ・ 本日の講演をお聞きして、ご家族に対して前向きに関われるような気がします
- ・ 「家族を一つ」として支援することがとても大事な事をあらためて認識しました。

② 勉強会「家族まるごと支援の方法とコツ

～メリデン版訪問家族支援は、本人・家族・支援者に何をもたらすか～」

令和8年2月6日（金） 18：30～20：30 オンライン

（オンデマンド配信は、2/11～2/24）

オンライン参加者：5名、 オンデマンド視聴者：申込数21名

アンケートより

- ・ 今後の支援で活かしたいと思いましたが、もめない体験＝成功体験を支援の中で作りたいです。ご家族に対して前向きに関われるような気がします
- ・ 実践力の向上、対立しにくい等、支援者側のメリットも大きいことを学ぶことができた

③ 交流会「『家族まるごと支援』について考える」

令和8年3月12日（木）18：30～20：30 すこやかプラザ 多目的ホール

会場参加者：5名

アンケートより

- ・ 尼崎版で、「家族まるごと支援」を広めていけたら
- ・ どうすれば広まるのか…メリデンについて説明しやすいリーフレットを作ってはどうか
- ・ 訪問看護やユース支援などに取り入れていきたい

【効果】

家族関係回復を支援するメリデン版訪問家族支援を尼崎市で多くの方々に知ってもらえることができ、メリデン版訪問家族支援の研修を受講される方も複数いた。これを機に、市内で「家族まるごと支援」（メリデン版訪問家族支援の基本理念）を広められるように今後も継続して考えていくことが確認された。